



ぶどう特報

No.2 H26. 4. 25
J A 中野市営農センター
J A 中野市ぶどう部会

- ◆露地の発芽は4月28日の予想（平年並み）
- ◆べと病・晩腐病の初期防除時期となります。散布間隔に注意しながら散布に努めて下さい。
- ◆散布量を守り死角を作らないように散布しましょう。

26 生育状況	発芽	展葉	開花	満開	落花
平 年	4月28日	5月2日	6月10日	6月14日	6月17日
昨 年	4月29日	5月2日	6月11日	6月14日	6月16日
本 年（予想）	4月28日	5月2日	6月10日	6月14日	6月17日

【ぶどう特別散布】（降雨が続き、べと病が心配な園）

散布時期	5月上旬頃（展葉3～4枚頃）									
散布薬剤	水	100ℓ	<table border="1"> <tr> <td>散布日</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>散布量</td> <td colspan="2">ℓ</td> </tr> </table>		散布日	月	日	散布量	ℓ	
	散布日	月			日					
	散布量	ℓ								
	展着剤	10 ml								
キノドール水和剤 80	83 g									
ダイアジノン水和剤 34	100g									
散布量	10アール当り 300ℓ									
適用病害虫	べと病・黒とう病・カカガラムシ（若齢幼虫）・ミドリカビイ（カカガラムシ類）									
注 意 点	① 連続した降雨が予想される場合は、特別散布を実施する。 ② 昨年べと病の発生した園は必ず散布する。 ③ シャインマスカット、ロザリオピアンコ混植園は必ず散布する。 ＊防除の際、隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡してください。									

【第2回ぶどう薬剤定期散布】

散布時期	5月中旬頃（展葉6枚頃）									
散布薬剤	水	100ℓ	<table border="1"> <tr> <td>散布日</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>散布量</td> <td colspan="2">ℓ</td> </tr> </table>		散布日	月	日	散布量	ℓ	
	散布日	月			日					
	散布量	ℓ								
	展着剤	10 ml								
キノドール水和剤 80	83 g									
	【有核巨峰の場合 マルポロン 100 g】									
散布量	10アール当り 300ℓ									
適用病害虫	べと病・黒とう病・（枝膨病）									
注 意 点	① 今回から10日間隔での薬剤散布を厳守する。 ② 建物の近くなど、汚れの心配な園についてはキノドール水和剤に代えて、ドーシャスフロアブル 2,000倍（60日前まで、3回）を散布してもよい。 ③ カイガラムシ・アブラムシの発生がある場合は、ダイアジノン水和剤 1,000倍（30日前まで、2回）加用する。 ④ 結実安定のため、マルポロン 1,000倍の葉面散布を併せて実施する。（特に有核巨峰） ⑤ 散布量を守り死角のないようにていねいに散布してください。 ＊樹勢の弱い園地は、展葉6枚と9枚頃アミノメリット特青 500倍を散布する。 ＊防除の際、隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡してください。									

◆葉面散布剤について（農薬散布時混用可能 [詳細は別紙注文書をご覧ください](#)）

結実確保には、展葉6枚頃・9枚頃・開花3日前の3回散布が効果的！

- ・結実確保にホウ素をはじめ各種葉面散布剤が有効です。
- ・開花期まで少雨乾燥が続く場合は葉面散布剤でホウ素を補給しましょう。
- ・花粉の活性を高めるには『花果神』、樹勢調節するには『メリット赤』

使用目的		商品名	使用濃度	
結実安定しない場合 （特に有核巨峰） （ホウ素の補給）	強樹勢の園	ビーブロッサ	1,000倍	100g / 100ℓ
	弱樹勢の園	ヨーヒB5	800倍	125ml / 100ℓ
		マルポロン	1,000倍	100g / 100ℓ
花粉が少ない場合		花果神	30,000倍	10g(1袋) / 300ℓ
樹勢が強い場合		メリット赤	300倍	333ml / 100ℓ
葉色の薄い場合		ビッグマグ	1,000倍	100g / 100ℓ

園地の生育状況を確認し適期作業に努めましょう。